



SAS 9.2 Intelligence Platform

事前準備のためのチェックリスト



著作権情報

このマニュアルの正確な書籍情報は、以下のとおりです。

SAS® 9.2 Intelligence Platform Pre-installation Checklists

Copyright® 2010, SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.

SAS Foundationに含まれるいくつかのソフトウェアでは、9.2以外のリリース番号が表示されることがあります。

本書は、発行元であるSAS Institute, Inc.の事前の書面による承諾なく、この出版物の全部あるいは一部を、電子データ、印刷、コピー、その他のいかなる形態または方法によって、複製、転送、または検索システムに保存することは禁止されています。これらの説明書は著作権により保護されています。

著作権保護を受ける本書の使用の範囲は制限されています。許される使用の範囲とは、使用者のシステムに保存して端末に表示すること、本書が提供された目的である、SASプログラミングおよびライセンスプログラムのインストール・サポートの責任者が使用するために、必要な部数だけコピーすること、および特定のインストール要件を満たすように内容を修正することを指します。本書の全部あるいは一部を印刷する場合、またはディスプレイ媒体に表示する場合は、SAS Instituteの著作権表示を明記する必要があります。上記の条件以外で本書を複製または配布することは一切禁止されています。

アメリカ合衆国政府の制約された権限についての通知

アメリカ合衆国政府による、本ソフトウェアおよび関連するドキュメントの使用、複製、公開は、「FAR52.227-19 Commercial Computer Software-Restricted Rights」（1987年6月）に定められた制限の対象となります。

SAS Institute Inc., SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513.

SAS®およびSAS Instituteのプロダクト名またはサービス名は、米国およびその他の国におけるSAS Institute Inc.の登録商標または商標です。

®は米国で登録されていることを示します。

その他、記載されている会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

新機能	1
概要	1
新しいSASサーバー	1
新しいSAS配置ツール	2
セキュリティの拡張点	2
配置における拡張点	2
SASポートの変更	3
サードパーティソフトウェアのポートの変更	3
サードパーティソフトウェアのグループの変更	4
ドキュメントの記述内容の拡張点	4
第1章 概要	5
チェックリストの使用方法	5
SAS Intelligence Platformプロダクトにおけるアクセシビリティ機能	6
第2章 WindowsおよびUNIXにおけるSASユーザーとグループ	7
WindowsおよびUNIXにおけるSASの外部ユーザーアカウント	7
WindowsおよびUNIXにおけるSASのためのグループ	7
第3章 サードパーティソフトウェアの事前準備のためのチェックリスト	9
サードパーティソフトウェアのための外部ユーザーアカウント	9
サードパーティソフトウェアのグループ	9
サードパーティソフトウェアのポートおよび追加情報	10
サードパーティソフトウェアのポートおよび追加情報について	10
Java Development Kit (JDK)	10
JUNIT	11
WebLogic Server	11
WebSphere Application Server	12
JBoss Application Server	13
Platform Suite for SAS	13
第4章 Windows、UNIX、z/OSにおけるSASのためのポート	15
SASのためのポート	15
第5章 z/OSにおけるSASユーザー、グループ、定義	17
z/OSにおけるSASの外部ユーザーアカウント	17
z/OSにおけるSASのグループ	17
z/OSにおける構成ディレクトリの作成およびSASライブラリの定義	18
SAS 9.2 SVCルーチンのインストール	18
SASCPモジュールのインストール	19

新機能

概要

『SAS Intelligence Platform : 事前準備のためのチェックリスト (Pre-installation Checklists)』は、『SAS Intelligence Platform : Installation and Configuration Guide』に付随するドキュメントです。『Installation and Configuration』では、SAS Intelligence Platformのインストール手順をステップバイステップで解説しています。この手順を実行することで、チェックリストの多くの項目を完了することができます。これらのチェックリストには、SASユーザーのIDやサードパーティプロダクトのインストール場所などの情報を書き留めておきます。

このドキュメントは、「チェックリスト」のみを含んでいます。どのようにチェックリストに記入するのかについては解説していません。この点は、『SAS Intelligence Platform : Installation and Configuration Guide』を参照してください。SAS社は、企業内システムのプランニングにおいて、収集する必要のある情報の概要を把握するために、これらの総括的なチェックリストを使用することを推奨します。

注意 : これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

このドキュメントには、次のSAS 9.2の拡張点に基づく新しい事項を含んでいます。

- 新しいSASサーバー
- 新しいSAS配置ツール
- セキュリティの拡張点
- 配置における拡張点
- ポートの変更
- サードパーティソフトウェアのポートの変更
- サードパーティソフトウェアのグループの変更
- ドキュメントの記述内容の拡張点

新しいSASサーバー

次の3つの新しいSAS 9.2サーバーがあります。

- SAS Content Server:
Apache HTTPおよびXythosを置き換える新しいWebDAVサーバーです。
- SAS Table Server
- SAS Pooled Workspace Server

新しいSAS 配置ツール

SAS 9.2には、次の新しい配置ツールがあります。

- SAS Download Managerは、セキュリティ保護されたHTTP接続を使用して、インターネット経由でオーダーしたSASソフトウェアのダウンロードを可能にするツールです。
- SAS Deployment Wizardは、SASのインストールおよび初期設定を1つに統合したウィザードです。このウィザードはSAS 9.1.3のSAS Software NavigatorおよびSAS Configuration Wizardの置き換えになります。

セキュリティの拡張点

SAS 9.2には、セキュリティにおける次の拡張点があります。

- SAS 9.2の実行に、以前より少ない数のオペレーティングシステムアカウントで対応します。
- 内部ユーザーアカウントはSAS 9.2からの新しいアカウントで、(sastrustとsasadmのような) 必要条件のユーザーアカウントにデフォルトで使用されます。
- 統合Windows認証 (IWA : Integrated Windows Authentication) は、Windowsデスクトップユーザーのためのシングルサインオン機能を提供します。
- sassrvユーザーアカウントに「バッチジョブとしてログオン」権限を手動で付与する必要は、もはやありません。SAS Deployment Wizardが、自動的にこの作業を行います。
- SAS 9.2がサポートするWindowsプラットフォームにおいて、Windowsの権限「オペレーティングシステムの一部として機能」は、SAS ServerのユーザーまたはPlatform Suite for SASの管理者に必要ありません。

配置における拡張点

SAS 9.2には、配置における次の拡張点があります。

- 自動化。SASの最初の設定において、インストール後の手動による構成スクリプトのほとんどを廃止しました。
- 前もって設定を入力しておくことにより、ウィザードのセッション全体を監視する必要はなくなりました。
- 必要条件のサードパーティソフトウェアの確認がインストールに含まれました。
- 電子プロダクト登録機能 (Electronic Product Registration) は、ユーザーがSASに問い合わせを行う場合、より迅速にサポートできるように、ユーザーインストールデータをSASに送付します。電子プロダクト登録機能は、安全で、ライセンスまたはソフトウェアの使用に影響を与えません。この機能はオプションです。詳細は、下記を参照してください。
<http://support.sas.com/legaldocs/eregistration.html>
- 暫定版SASインストールデータファイルがSASソフトウェアデポに含まれています。
- 複数台のマシンにまたがる自動的な配置 (capture-replay機能) が可能です。
- SASソフトウェアデポの作成において、ディスク容量と時間の見積りが行われます。
- インストールDVD (CD) を作成するための、SASオーダーのディスクイメージの作成が可能です。
- z/OS環境において、プログラム制御のSAS/C実行ライブラリを定義する必要はなくなりました。

SAS ポートの変更

以下のSASポートの変更が行われました。

- ❑ SAS Pooled Workspace Serverのポート番号が追加されました： 8701
- ❑ SAS Table Serverのポート番号が追加されました： 2171
- ❑ 3つの新しいSAS Object Spawnerのポート番号が追加されました： 8801、8811、8821
- ❑ SAS Remote Services Applicationのポート番号が5099から5091に変更されました。
- ❑ SAS Object Spawnerのロードバランスのポート番号が廃止されました。
- ❑ メタデータユーティリティSAS Workspace Serverのポート番号が追加されました： 8591
- ❑ SAS Deployment Tester Serverのポート番号が追加されました： 10021

2010年11月以降に出荷されたSAS 9.2では、以下のSASポートの変更が行われました。

- ❑ BI PortletsのRMIポート番号の登録は廃止されました： 9000
- ❑ SAS Web Report Studio IP Schedulingのための3つのUDPポート番号が追加されました。 7570、7571、7572

サードパーティソフトウェアのポートの変更

Platform Suite for SASの以下のPlatform LSFポートが追加または変更されました。: 6878, 6881, 6882, 7869, 7870, 7871, 7872

JBoss Web Application Serverのポートに対して、以下の変更が行われました。

- ❑ 管理対象サーバーのRMIポート番号が追加されました： 1099、1199（追加の管理対象サーバーは値が100ずつ増えます）
- ❑ 管理対象サーバーの待ち受けポート番号が追加されました： 8080、8180（追加の管理対象サーバーは値が100ずつ増えます）
- ❑ 管理対象サーバーのセキュリティ保護された待ち受けポート番号が追加されました： 8443、8543（追加の管理対象サーバーは値が100ずつ増えます）

Oracle WebLogic Web Application Serverのポートに対して、以下の変更が行われました。

- ❑ WebLogicノードマネージャポート番号が追加されました： 5556.
- ❑ 管理対象サーバーのセキュリティ保護された待ち受けポート番号が追加されました： 7002、7102（追加の管理対象サーバーは値が100ずつ増えます）

IBM WebSphere Web Application Serverのポートに対して、以下の変更が行われました。

- ❑ 管理コンソールのSOAPポート番号が追加されました。 8879.
- ❑ 管理対象サーバーのSOAPポート番号が追加されました： 8880、8881（追加のアプリケーションサーバーは値が1ずつ増えます）
- ❑ 管理コンソールのセキュリティ保護されたHTTPSポート番号が追加されました： 9043.
- ❑ 管理コンソールのセキュリティ保護されていないHTTPポート番号が追加されました： 9060.
- ❑ アプリケーションサーバー管理コンソールのセキュリティ保護されたHTTPSポート番号が追加されました： 9044、9045（追加の管理コンソールは値が1増えます）
- ❑ 管理コンソールのRMIポート番号が追加されました。 9809.

- 管理対象サーバーのRMIポート番号が追加されました： 9811、9812（追加のアプリケーションサーバーは値が1ずつ増えます）

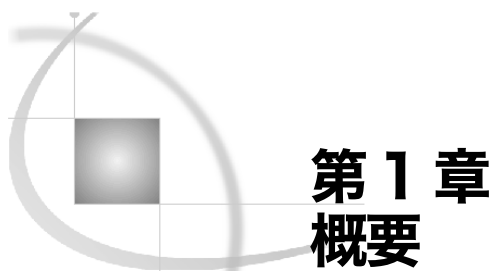
SAS 9.2の2009年11月以降のリリースにおいて、IBM WebSphere Portal Serverの待ち受けポートとして10040が追加されました。

サードパーティソフトウェアのグループの変更

SAS 9.2のTS2M3メンテナンス版では、UNIXおよびz/OSにおいて、SAS InstallerおよびWebSphere Application Server Installerアカウントを、インストールディレクトリに対する必要な書き込み権限を持つように、同じオペレーティングシステムのグループに含めることを推奨します。

ドキュメントの記述内容の拡張点

2010年11月以降に出荷されたSAS 9.2に対応したこのドキュメントでは、SASにおけるデータの出入力の方向、および必要条件のサードパーティソフトウェアのポートが記載されています。



第1章 概要

チェックリストの使用方法

SAS Intelligence Platformのインストールを開始する前に、このドキュメント(または『SAS Intelligence Platform : Installation and Configuration Guide』)のチェックリストに記入してください。チェックリストの項目には、作成しなければならないオペレーティングシステムのユーザーアカウントおよびグループ、選択しなければならないTCP/IPポート、インストールするサードパーティプロダクトがあります。これらに適宜記入してください。

注意： SAS Intelligence PlatformにSASソリューションを追加インストールする場合、そのソリューションにおける特定のインストール前の事項が存在するかどうかについては、次のWebページ (<http://support.sas.com/documentation/onlinedoc/>) を参照してください。「SAS Products Documentation」のWebページにおいて、プロダクト選択リストから対象となるソリューションを選択し、ソリューション特有の事前準備 (pre-installation) 作業を行ってください。

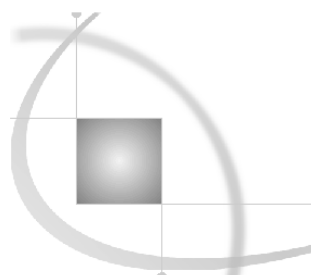
注意： これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式 (アーキテクチャのダイアグラム) もあります。

下記の方法に従って、チェックリストを使用してください。

1. 使用するオペレーティングシステムによって、使用するチェックリストを決定します。
 - Windows、UNIX、またはその両方：
 - 第2章 WindowsおよびUNIXにおけるSASユーザーとグループ (7ページ)
 - 第3章 サードパーティ (ソフトウェア) のための事前準備のためのチェックリスト (9ページ)
 - 第4章 Windows、UNIX、z/OSにおけるSASのためのポート (13ページ)
 - z/OS：
 - 第4章 Windows、UNIX、z/OSにおけるSASのためのポート (13ページ)
 - 第5章 z/OSにおけるSASユーザー、グループ、定義 (15ページ)
2. 適切なチェックリストを出力してください。
3. チェックリストの項目を実施してください。
4. SASの配置中に適宜チェックリストを参照してください。

SAS Intelligence Platform プロダクトにおけるアクセシビリティ機能

このドキュメントで解説しているプロダクトのアクセシビリティの情報については、そのプロダクトのドキュメントを参照してください。SASプロダクトのアクセシビリティに関する質問がありましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。



第2章 Windows および UNIX における SAS ユーザーとグループ

Windows および UNIX における SAS の外部ユーザーアカウント

下記の事前準備のためのチェックリストを使用して、WindowsおよびUNIXにおけるSASに対し、必要な外部ユーザーアカウントを作成したことを確認してください。

外部ユーザーアカウントに必要な権限の情報については、『SAS Intelligence Platform : Installation and Configuration Guide』の「サードパーティソフトウェアの外部ユーザーアカウントに必要な権限」を参照してください。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

表2.1 WindowsおよびUNIXにおけるSASの外部ユーザーアカウントのための事前準備のためのチェックリスト

アカウント	推奨するユーザーID	実際のユーザーID
SAS Installer	Windows : my-domain¥installer-ID ¹ UNIX : sas ^{2,3}	
SAS Spawned Serverアカウント	Windows : my-domain¥sassrv UNIX : sassrv ²	

- 1 Windowsでは、今後のSASのメンテナンスのため長期に使用できるユーザーIDを使用してください。
- 2 AIXでは、そのユーザーに対して、「User can LOGIN?」設定が「true」に設定されていることを確認してください。
- 3 UNIXでは、rootを使用してはなりません。

注意：UNIX環境では、SAS Deployment Wizardは配置中にrootパスワードを要求することがあります。いくつかのSASプロダクトおよび機能では、SASによるユーザーID認証とファイルアクセス権限の確認を必要とする機能を使用します。これは、言い換えると、SASインストールのあるファイルは、setuid権限を持ちオーナーがrootであることが必要です。

Windows および UNIX における SAS のためのグループ

下記の事前準備のためのチェックリストを使用して、WindowsおよびUNIXにおけるSASに対し、必要なユーザーグループを作成したことを確認してください。

注意：Windowsでは、ユーザーグループを作成する必要はありません。グループの作成は、必要なユーザー権限を割り当てる方法の1つとして考えることができます。

詳細は、『SAS Intelligence Platform:Installation and Configuration Guide』の「Defining Groups」の章の「The SAS Server Users Group (Windows)」を参照してください。

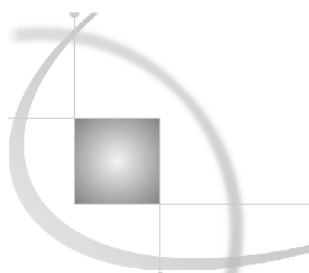
注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

表2.2 WindowsおよびUNIXにおけるSASのグループのための事前準備のためのチェックリスト

推奨するグループ名	グループメンバー	オペレーティングシステムと目的	実際のグループ名
SAS Server Users ¹	SAS Spawned Server アカウント SAS First User その他のユーザー	Windows : Stored Process ServerおよびPooled Workspace ServerのためのSAS Spawned Serverアカウントに「バッチジョブとしてログオン」ユーザー権限を割り当てる推奨する方法。 SAS First Userおよびその他のStandard Workspace Serverのユーザーに、「バッチジョブとしてログオン」ユーザー権限を割り当てる推奨する方法。	
sas ²	SAS Installer SAS Spawned Server アカウント	UNIX : SAS InstallerユーザーのプライマリグループSAS Deployment Wizardが、必要なログおよびSASが要求する構成ディレクトリを作成することを可能にします。 グループメンバー全員に対し、SAS ログおよび構成ディレクトリの変更のために、SAS Spawned Serverアカウントに書き込み許可を与えます。	

1 統合Window認証（IWA : Integrated Windows Authentication）を実装していない場合、Standard Workspace Serverにアクセスする外部ユーザーも追加します

2 この権限グループは構成ファイルへのオペレーティングシステムのアクセス権を持つので、メンバーを制限してください。



第3章 サードパーティソフトウェアの事前 準備のためのチェックリスト

サードパーティソフトウェアのための外部ユーザーアカウント

下記の事前準備のためのチェックリストを使用して、サードパーティソフトウェアに対し、必要なユーザーグループを作成したことを確認してください。

外部ユーザーアカウントに必要な権限の情報については、『SAS Intelligence Platform : Installation and Configuration Guide』の「Rights Required by External User Accounts (Third-Party)」を参照してください。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

表3.1 サードパーティソフトウェアにおける外部ユーザーアカウントのための事前準備のためのチェックリスト

アカウント	推奨するユーザーID	実際のユーザーID
LSF Administrator	Windows : my-domain%lsfadmin UNIX : lsfadmin	
LSF User	Windows : my-domain%lsfuser UNIX: lsfuser	

サードパーティソフトウェアのグループ

下記の事前準備のためのチェックリストを使用して、WindowsおよびUNIXにおけるサードパーティソフトウェアに対し、必要なユーザーグループを作成したことを確認してください。

詳細は、『SAS Intelligence Platform:Installation and Configuration Guide』の「Defining Groups」を参照してください。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

表3.2 サードパーティソフトウェアにおけるグループのための事前準備のためのチェックリスト

推奨するグループ名	グループメンバー	オペレーティングシステムと目的	実際のグループ名
SAS Server Users	スケジューリングユーザー (lsfuser)	Windows : スケジューリングユーザーに「バッチジョブとしてログオ	

		ン」ユーザー権限を割り当てる推奨する方法。	
sas	SAS Installer (sas) WebSphere Application Server Installer	UNIX: 特定のインストールディレクトリに必要な書き込み権限を割り当てる推奨する方法。	
SASGRP	SAS Installer (sas) WebSphere Application Server Installer	z/OS: 特定のインストールディレクトリに必要な書き込み権限を割り当てる推奨する方法。	

サードパーティソフトウェアのポートおよび追加情報

サードパーティソフトウェアのポートおよび追加情報について

システムを構成する際、SAS Deployment Wizardに、SAS Intelligence Platformのサポートのためのインストールしたサードパーティプロダクトについて正確な情報を与える必要があります。下記のセクションでは、SAS Deployment Wizardがどのプロダクトについて情報を必要とするか、および各プロダクトのどのような情報が必要になるか、について示しています。すでにインストールしている、またはこれからインストールする各プロダクトについての情報を、下記の事前準備のためのチェックリストに記入してください。

UNIX環境では、各マシンの通常の場所である/etc/servicesに予約した各サードパーティソフトウェアのポートを記述することを推奨します。この作業により、関連するマシンにおけるポートの競合を避けることができます。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

詳細は、『SAS Intelligence Platform: Installation and configuration Guide』の「Overview of Installing Third-Party Products」を参照してください。

注意：サードパーティプロダクトのダウンロードページは、<http://www.sas.com/japan/service/installcenter/configuration/thirdpartysupport/>にあります。またこのページでは、SAS Intelligence Platformでサポートしているプロダクトのバージョンについて説明しています。

Java Development Kit (JDK)

JDKのバージョンの必要条件の詳細は、サードパーティソフトウェアのWebページ (<http://www.sas.com/japan/service/resources/thirdpartysupport/>) の任意のSASリリースの「その他のサードパーティソフトウェアプロダクト」を参照してください。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

表3.3 Java開発キット (JDK)

説明	デフォルトの値	実際の値
プロダクトのバージョン	Webアプリケーションサーバーおよびオペレーティングシステム	

	テムに依存します。 [英] http://support.sas.com/thirdpartysupport/ [日] http://www.sas.com/japan/service/resources/thirdpartysupport/	
インストールディレクトリ	N/A	

JUNIT

JUNITは、Javaのためのオープンソースのテストフレームワークで、記述したユニットおよび回帰テストのデファクトスタンダードです。出荷されたSASプロダクトのテストを行う場合、いくつかのテストはSAS Deployment Testerフレームワークで動作し、JUNITを必要とします。JUNITのバージョンの必要条件の詳細は、サードパーティソフトウェアのWebページ (<http://www.sas.com/japan/service/resources/thirdpartysupport/>) の任意のSASリリースの「その他のサードパーティソフトウェアプロダクト」を参照してください。

WebLogic Server

Oracle WebLogic Serverにおけるインストール前およびインストール後に行う設定作業の詳細は、サードパーティソフトウェアのWebページ (<http://www.sas.com/japan/service/resources/thirdpartysupport/>) の任意のSASリリースの「Web Application ServerおよびHTTP Server」を参照してください。デフォルトのポートを変更するには、SAS Deployment Wizardのプロンプトレベルを [標準] または [カスタム] で使用しなければなりません。詳細は、『SAS Intelligence Platform:Installation and configuration Guide』の「Select configuration Prompting」を参照してください。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

表3.4 WebLogic Server

説明	デフォルトの値	実際の値
プロダクトのバージョン	9.2	
インストールディレクトリ	N/A	
ドメイン名	SASDomain	
管理対象サーバー名	SASServer1、SASServer2、その他	
WebLogicノードマネージャポート	5556（インバウンドおよびアウトバウンド）	
管理対象サーバーのセキュリティ保護されていない待ち受けポート	7001、7101（インバウンドおよびアウトバウンド） （追加の管理対象サーバーは値が100増えます）	
管理対象サーバーのセキュリティ保護された待ち受けポート	7002、7102（インバウンドおよびアウトバウンド） （追加の管理対象サーバーは値が100増えます）	
管理サーバーの待ち受けポート	7501（インバウンドおよびアウトバウンド）	

WebSphere Application Server

IBM WebSphere Application Serverにおけるインストール前およびインストール後に行う設定作業の詳細は、サードパーティソフトウェアのWebページ (<http://www.sas.com/japan/service/resources/thirdpartysupport/>) の任意のSASリリースの「Web Application ServerおよびHTTP Server」を参照してください。デフォルトのポートを変更するには、SAS Deployment Wizardのプロンプトレベルを[標準]または[カスタム]で使用しなければなりません。詳細は、『SAS Intelligence Platform:Installation and configuration Guide』の「Select configuration Prompting」を参照してください。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

表3.5 IBM WebSphere Application Server

説明	デフォルトの値	実際の値
プロダクトのバージョン	7.0	
アプリケーションサーバー名	SASServer1、SASServer2、その他	
管理対象ノードのプロファイル名（ノードエージェントおよびWebアプリケーションサーバーを含む）	SASlocal-hostname01、SASlocal-hostname02、その他	
管理対象ノードのノード名	SASlocal-hostname01Node、SASlocal-hostname02Node、その他	
Deployment Managerのプロファイル名	SASDmgr01（Z/OSではDEFAULT）	
Deployment Managerのセル名	SASDmgr01Cell	
Deployment Managerのノード名	SASDmgr01Node	
管理コンソールのSOAPポート	8879（インバウンドおよびアウトバウンド）	
アプリケーションサーバーのSOAPポート	8880、8881（インバウンドおよびアウトバウンド） （インバウンドおよびアウトバウンド） （追加のアプリケーションサーバーは値が1増えます）	
管理コンソールのセキュリティ保護されたHTTPSポート	9043（インバウンド）	
アプリケーションサーバーのセキュリティ保護されたHTTPSポート	9044、9045（インバウンド）（追加のアプリケーションサーバーは値が1増えます）	
管理コンソールのセキュリティ保護されていないHTTPポート	9060（インバウンド）	
アプリケーションサーバーのセキュリティ保護されていないHTTPポート	9080、9081（インバウンド）（追加のアプリケーションサーバーは値が1増えます）	
管理コンソールのRMIポート	9809（インバウンドおよびアウトバウンド）	
アプリケーションサーバーのRMIポート	9811、9812（インバウンドおよびアウトバウンド）（追加のアプリケーションサーバーは値が1増えます）	
WebSphere Portal Server（WPS）待ち受けポート	10040（インバウンドおよびアウトバウンド）	

JBoss Application Server

JBoss Application Serverにおけるインストール前およびインストール後に行う設定作業の詳細は、サードパーティソフトウェアのWebページ (<http://www.sas.com/japan/service/resources/thirdpartysupport/>) の任意のSASリリースの「Web Application ServerおよびHTTP Server」を参照してください。デフォルトのポートを変更するには、SAS Deployment Wizardのプロンプトレベルを[標準]または[カスタム]で使用しなければなりません。詳細は、『SAS Intelligence Platform:Installation and configuration Guide』の「Select configuration Prompting」を参照してください。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

表3.6 JBoss Application Server

説明	デフォルトの値	実際の値
プロダクトのバージョン	4.3	
管理対象サーバー名	SASServer1、SASServer2、その他	
管理対象サーバーのRMIポート	1099、1199（インバウンドおよびアウトバウンド）（追加の管理対象サーバーは値が100増えます）	
管理対象サーバーの待ち受けポート	8080、8180（インバウンドおよびアウトバウンド）（追加の管理対象サーバーは値が100増えます）	
管理対象サーバーのセキュリティ保護された待ち受けポート	8443、8543（インバウンドおよびアウトバウンド）（追加の管理対象サーバーは値が100増えます）	

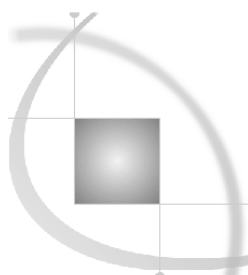
Platform Suite for SAS

Platform Suite for SASのバージョンの必要条件の詳細は、サードパーティソフトウェアのWebページ (<http://www.sas.com/japan/service/resources/thirdpartysupport/>) の任意のSASリリースの「その他のサードパーティソフトウェアプロダクト」を参照してください。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

表3.7 Platform Suite for SAS

説明	デフォルトの値	実際の値
Platform Process Managerポート	1966（インバウンド）	
プロダクトのバージョン	7.0	
Platform LSFポート	6878, 6881, 6882, 7869, 7870, 7871, 7872（インバウンド）	
プロダクトのバージョン	7.02	
Platform Grid Management Serviceポート	1976（インバウンド）	
プロダクトのバージョン	7.0	



第4章 Windows、UNIX、z/OS における SAS のためのポート

SAS のためのポート

下記の事前準備のためのチェックリストを使用して、SASに対し、必要なポートを指定したことを確認してください。

SAS Intelligence Platform で使用するポートの詳細は、『SAS Intelligence Platform: System Administration Guide』の付録（Appendix）の「Default SAS Port」を参照してください。

UNIXおよびz/OS環境では、下記に示す各マシンの標準的な場所に、予約したポートを記述することを推奨します。

- UNIX - /etc/services
- z/OS - TCP/IP PROFILEデータセット

この作業により、関連するマシンにおけるポートの競合を避けることができます。

z/OSでは、SAS Serverは、/bin/tsoを使用してUSSシェルから呼び出されたTSOプロセスとして起動するように構成および初期化されます。これらのサーバーがTSO下で起動されると、ジョブ名はそのサーバーを起動しているユーザーIDの末尾にキャラクタが追加されたものになります。TCP/IPの予約されたポートを使用する場合、各ポートの定義は、起動されたタスク、およびこのポートで有効なユーザーとしてSAS Insaller IDのジョブ名を含まなければなりません。この定義では、アスタリスクを使用することができます（例：sas*）。

注意：すべてのオペレーティングシステム上において、デフォルトのポート番号の最後の数字は、SAS Deployment Wizardで選択した構成レベルを反映します。たとえば、Lev1を選択した場合、メタデータサーバーのデフォルトのポートは8561になります。その他のレベル、たとえばLev2を選択した場合、SAS Deployment Wizardはデフォルトのポートを8562に変更します。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

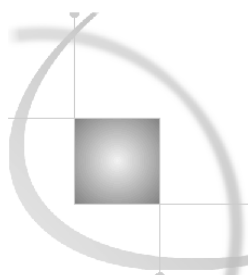
表4.1 ポートの事前準備のためのチェックリスト（SAS）

サーバーまたはスポーナ	デフォルトのポート	データの方向	実際のポート
電子メールサーバー	25	アウトバウンド	
HTTPサーバー	80	インバウンドお	

		よびアウトバウンド	
HTTPサーバー（セキュリティ保護されたポート）	443	インバウンドおよびアウトバウンド	
SAS Table Server	2171	インバウンド	
SAS Remote Servicesアプリケーション	5091	インバウンド	
SAS OLAP Server	5451	インバウンド	
Event Broker管理	6051	インバウンド	
SAS/CONNECTサーバーおよびスポーナ	7551	インバウンドおよびアウトバウンド	
Web Report Studio IPスケジューリングUDPポート1	7570	インバウンドおよびアウトバウンド	
Web Report Studio IPスケジューリングUDPポート2	7571	インバウンドおよびアウトバウンド	
Web Report Studio IPスケジューリングUDPポート3	7572	インバウンドおよびアウトバウンド	
Event Broker HTTP	8111	インバウンド	
オペレーティングシステムサービススケジューラ	8451	インバウンド	
SAS/SHAREサーバー	8551	インバウンド	
マルチキャスト（UDPポート）	8561	インバウンドおよびアウトバウンド	
SAS Metadata Server	8561	インバウンドおよびアウトバウンド	
SAS Object Spawner：操作ポート	8581	インバウンド	
SAS Workspace Server	8591	インバウンド	
Metadata utilities SAS Workspace Server ¹	8591	インバウンド	
SAS Stored Process Server：ブリッジ接続	8601	インバウンド	
SAS Stored Process Server：ロードバランス接続1（マルチブリッジ）	8611	インバウンド	
SAS Stored Process Server：ロードバランス接続2（マルチブリッジ）	8621	インバウンド	
SAS Stored Process Server：ロードバランス接続3（マルチブリッジ）	8631	インバウンド	
SAS Pooled Workspace Server	8701	インバウンド	
SAS Object Spawner：Pooled Workspace Serverのポートバンク1	8801	インバウンド	
SAS Object Spawner：Pooled Workspace Serverのポートバンク2	8811	インバウンド	
SAS Object Spawner：Pooled Workspace Serverのポートバンク3	8821	インバウンド	
SAS Deployment Tester Server	10021	インバウンド	

1 SAS 9.2では、2台以上のWorkspace Serverを同時に実行して同じポートを共有できます。

注意：SAS Table Serverを配置している場合、SAS構成パスはそのマシンを指すパスになります。構成パスは、NFS共有ディスク上のパスではありません。詳細は、『SAS Intelligence Platform:Installation and configuration Guide』の「Interactive Prompting Levels」を参照してください。



第5章 z/OSにおけるSASユーザー、グループ、定義

z/OSにおけるSASの外部ユーザーアカウント

以下の事前準備のためのチェックリストを使用して、z/OSにおけるSASの配置と実行に必要な外部ユーザーアカウントを作成してください。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。

表5.1 z/OSにおけるSASの外部ユーザーアカウントのための事前準備のためのチェックリスト

アカウント	推奨するユーザーID	実際のユーザーID
SAS Installer	sas	
SAS Spawned Serverアカウント	sassrv	

注意：

- ❑ 各外部ユーザーアカウントに必要な権限の情報については、『SAS Intelligence Platform : Installation and Configuration Guide』の「Rights Required by External User Accounts for SAS」を参照してください。
- ❑ SAS InstallerおよびSAS Spawned ServerアカウントはTSOセグメントが定義されていなければなりません。
- ❑ デフォルトでは、SAS Installerは次のようになります。
 - ❑ サーバーの起動されたタスクのオーナー
 - ❑ 構成ディレクトリ構造のオーナー
 - ❑ UNIXファイルシステム上に書き込み可能なホームディレクトリを持っていなければなりません。
 - ❑ 下記の値以上のOMVSセグメント定義を持っていなければなりません。
 - ❑ 2GB以上のASSIZEMAX
 - ❑ 5000秒以上のCPUITEMAX
 - ❑ 50ユーザー以上のPROCUSERMAX

z/OSにおけるSASのグループ

以下の事前準備のためのチェックリストを使用して、必要なユーザーグループを作成してください。

詳細は、『SAS Intelligence Platform:Installation and Configuration Guide』の「Defining Groups」を参照してください。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

表5.2 z/OSにおけるSASのグループのための事前準備のためのチェックリスト

推奨するグループ名	グループメンバー	目的	実際のグループ名
SASGRP1	SAS Installer	SAS Installerユーザーのデフォルトのグループ。	
	SAS Spawned Server アカウント	グループメンバー全員に対し、SAS ログおよび構成ディレクトリの変更のために、SAS Spawned Server アカウントに書き込み許可を与えます。	

1 このRACFグループの定義は、OMVSセグメントを含まなければなりません。この権限グループは、構成ファイルへのオペレーティングシステムのアクセス権を持つので、メンバーを制限してください。

z/OS における構成ディレクトリの作成および SAS ライブラリの定義

ユーザー、グループ、ポートを作成するのに加えて、z/OSでSAS Intelligence Platformを配置するには、下記の作業を行わなければなりません。

- z/OSマシン上で、SAS Server層のための構成ディレクトリとして機能するディレクトリの作成。
- プログラム制御されるSAS実行ライブラリの定義

この情報を下記のチェックリストに記入してください。

注意：これらのチェックリストの最新版は、<http://support.sas.com/installcenter/plans>にあります。このWebサイトには、対応する配置プランとその構成の図式（アーキテクチャのダイアグラム）もあります。

表5.3 z/OSにおける構成ディレクトリおよびSAS実行ライブラリのチェックリスト

タスク	実際のディレクトリまたはライブラリ名
SASサーバー層のための構成ディレクトリ ¹ の作成	
プログラム制御されるSAS実行ライブラリの定義	

1 一般的なパスは、/usr/lpp/SAS/SAS_9.2/<config-directory>です。

SAS 9.2 SVC ルーチンのインストール

ユーザー、グループ、ポートを作成するのに加えて、z/OSでSAS Intelligence Platformを配置するには、SAS 9.2 SVCルーチンをインストールしなければなりません。SAS 9.2 SVCルーチンをインストールするには、下記の手順に従ってください。

1. SAS社のFTPサイト (<ftp://ftp.sas.com/techsup/download/mvs/>) から「instsvc.xmit」をダウンロードします。
2. FTPを使用して、instsvc.xmitファイルをバイナリモードでz/OSシステム上に転送してください。以下のDBC情報で、そのターゲットデータセットを事前に割り当てておいてください。

LRECL=80

BLKSIZE=3120

RECFM=FB

- 以下のRECEIVEコマンドを使用して、SVCルーチンをインストールするのに必要なJCLメンバーを含むPDSを作成します。sas92.instsvc.xmitは、FTPを使用して転送したinstsvc.xmitのファイル名です。

```
receive indataset (sas92.instsvc.xmit)
```

以下のコマンドを発行し、JCLメンバー（完全なインストールを行うのに使用する）を含むデータセットの名前を指定します。

```
da(sas92.instsvc.cntl)
```

- 以下のコマンドを発行して、ロードモジュールを含むライブラリを作成します。SAS92.INSTSV.CNTLは、上記の手順で作成されるデータセットです。

```
receive indataset (sas92.instsvc.cntl (svcmo))
```

- 以下のコマンドを発行して、ロードモジュールを含むデータセットの名前を指定します。

```
da(sas92.instsvc.library)
```

- 『Configuration Guide for SAS 9.2 Foundation for z/OS』の「Installing the SAS 9.2 SVC Routine」に記載されている手順に従ってSVCのインストールを続けます。ただし、下記の点に注意してください。

- ドキュメントにおいてBAMISCデータセットについて言及しているすべての場合で、手順3で作成したCNTLデータセットを使用してください。
- ドキュメントにおいてSAS.LIBRARYデータセットに言及しているすべての場所で、手順4で作成したデータセットを使用してください。

『Configuration Guide for SAS 9.2 Foundation for z/OS』は、下記のSASインストールセンターのWebサイトから参照できます（ドキュメント名で検索してください）。

<http://support.sas.com/idsearch?ct=200000>

SASCP モジュールのインストール

ユーザー、グループ、ポートを作成するのに加えて、z/OSでSAS Intelligence Platformを配置するには、SAS 9.2 SASCPモジュールをインストールしなければなりません。SAS 9.2 SASCPモジュールをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- SAS社のFTPサイト（<ftp://ftp.sas.com/techsup/download/mvs/>）から「instsascp.xmit」をダウンロードします。
- FTPを使用して、instsascp.xmitファイルをバイナリモードでz/OSシステム上に転送してください。以下のDBC情報で、そのターゲットデータセットを事前に割り当てておいてください。

```
LRECL=80
```

```
BLKSIZE=3120
```

```
RECFM=FB
```

- 以下のRECEIVEコマンドを使用して、SASCPロードモジュールを含むPDSを作成します。sas92.insascp.xmitは、FTPを使用して転送したinstsascp.xmitのファイル名です。

```
receive indataset (sas92.insascp.xmit)
```

以下のコマンドを発行して、SASCPロードモジュールを含むターゲットデータセットの名前を指定します。

```
da(sas92.insascp.load)
```

- TSOコマンドを含むロードライブラリへSASCPモジュールをコピーしてください。これは、LOGONプロシジャ、システムのリンクリストライブラリ、リンクパックエリア（LPA）ライブラリのいずれかで定義されたSTEPLIBライブラリになります。

SASCPモジュールの詳細は、『Configuration Guide for SAS 9.2 Foundation for z/OS』の「Implementing SAS TSO Support」に記載されています。このドキュメントは、下記のSASインストーラセンターのWebサイトから参照できます（ドキュメント名で検索してください）。

<http://support.sas.com/idsearch?ct=200000>

英語版更新日 October 14 2010 (5th electronic book, November 2010)

SAS 9.2 (TS2M3), Rev. 920_10w46

PubCode: 61235

SAS[®] 9.2 Intelligence Platform 事前準備のためのチェックリスト

2010年11月26日 第2版第4刷発行 (92D172)

発行元 SAS Institute Japan株式会社

〒106-6111 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー11階

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL: 03(6434)3680 FAX: 03(6434)3681